

第1回 地域密着型サービス高齢者在宅サービスセンターふれあい  
運営推進会議 議事録

開催日時	令和6年6月21日（金） 13時30分～14時20分
開催場所	国分寺市高齢者在宅サービスセンターふれあいデイルーム
参加者	様 利用者 様 地域住民の代表（老人クラブ） 様 地域住民の代表（ボランティア） 様 地域住民の代表（ボランティア） 様 国分寺市福祉部高齢福祉課
出席職員	中村管理者、 係長、 主任、 相談員
司会進行	中村管理者
議事録	中村管理者

※「 」（地域の有識者）は、職務のため不参加。

1 当日の次第

- (1) 開会のあいさつ
- (2) 出席者の自己紹介
- (3) 施設の活動状況報告
- (4) ヒヤリハットや事故等の報告及び今後の予防策
- (5) 構成員からのご意見等
- (6) 意見交換、質疑応答
- (7) その他
- (8) 閉会のあいさつ

2 施設の活動状況報告

- ・3月に感謝祭があり、今年は歌謡ショーを実施しました。日頃の感謝の気持ちを込め、職員が利用者様に歌や特技を披露し、いつもと違った雰囲気の中、賑やかに楽しい時間を共有しました。毎年趣向を変え実施しています。
- ・4月にはお花見ドライブを1週間実施し、桜を見ながらたくさんの会話が生まれていました。
- ・来月7月は、夏まつりがあり、神輿・太鼓・盆踊り、そして職員からの余興を行い、食事やおやつにもこだわって満足していただけるよう企画しています。
- ・レクリエーションとして、個人作品ではお花の吊るし飾りや折り紙を行い、2月には節分の鬼を作り、個性ある鬼たちが壁を彩りました。ここ最近では、5月の鯉のぼり、あじさい、カタツムリ作りなど、季節を感じながら制作しました。今月は、七夕飾りや短冊に願い事を書き、笹に飾りつけ、目をひきつけています。

3 ヒヤリハットや事故等の報告及び今後の予防策

## 〈別紙3〉運営推進会議（介護・医療連携推進会議）の議事録

- ・「入浴日以外の方を入浴させてしまった」「入浴に際し一人で浴室に移動してしまった」「洗体中ボディソープを足へ落としてしまった」「感染対策用のパーテーションが倒れてしまった」「別の方の食事が配膳された」「送迎車から一人で降りてしまい転倒」などのケガ等には至らないものであったが、事故やヒヤリハットが発生しています。
- ・ヒヤリハットの記録は、次に同じような事例が出ないように作成しています。

### 4 構成員からのご意見等

「施設の活動状況報告」「ヒヤリハットや事故等の報告及び今後の予防策」に対する意見等（利用者）

- ・職員が細かいところにもよく気づいてくれて、よくやってくれている。
- ・きちんと厳しく注意してくれるから事故が起こらずに済んでいるのではないかと思う。

（地域住民の代表）

○老人クラブ

- ・ヒヤリハットについては確認できたが、大きな事故等の事例はあるか。  
⇒大きな事故等は発生していない。

○ボランティア

- ・ヒヤリハットなど細やかな対応していることを確認できてよかった。

（市）

- ・ヒヤリハット事例など説明があったが、職場内での共有は図られているのか。  
⇒ヒヤリハットが出た日に共有を図り、改善策の検討なども行っている。

「その他」意見等

（市）

- ・個人作品などを外部の方に見せられるようにすることで、施設のアピールになるのではないか。  
⇒施設外側通路の壁などにもいくつかの作品も掲示しているが、改めて何かできないか考えてみたい。

（ボランティア）

- ・中に掲示されている作品も是非外の人に見てもらいたい。  
⇒感染予防対策のため、まだまだ自由に入っていたくまでに至っていない。収束となった際は考えていきたい。

### 5 意見交換、質疑応答

（ふれあい）

- ・現在、園芸ボランティアなどをやっていただき、利用者、周辺の方や通行人の方々にきれいな花々を見ていただくことができ、皆さまからも喜ぶ声を聞いています。プランターを並べるだけでなく、ボランティア活動でやられていることなどもアピールできたらいいかなとも考えています。
- ・ボランティア活動では、現在、専門学校の学生に週1回のレク活動や見守りなどで来ていただいている、利用者様も喜んでいる状況です。

（老人クラブ）

- 自分も一助になるように他のところでボランティア活動をしているが、非常に重要なものであると思っている。
- 老人クラブの入会は減少していて、退会は多くなっている。会費を徴収している方も80名程度になっている。カラオケやゲートボール、ポッチャなどもやっているが、使える憩いの場がないことで苦慮している。引き続き、行政にお願いしていきたい。

6 その他

（ふれあい）

- 令和4年度から地域密着型通所介護として事業運営してきた「ふれあい」について、地域での要望の高いリハビリテーションの充実のため、10月末でふれあいを廃止し、11月から通所事業すべての定員を通所リハビリに移行する形で市は6月議会に提案している。既に厚生文教委員会では「ふれあい」の廃止は議論されていて、6/24の本会議で確定する。廃止となった場合、本運営推進会議も終了となる。終了となったとしても今後も情報共有や連携をお願いしたい。

\*会議終了後、推進会議構成員による壁装飾など利用者の作品を含め、浴室など施設見学を実施。